

子ども若者支援交流会 **ふかぼり** 篇

～大分における実践から、「制度に分断されない子ども若者支援」を学ぶ～

日本の福祉制度は、属性とリスクで分割されてきた

まちづくりでどう関わっていくのか

社会的規範から飛び出た子にはポストイットが貼られる

支援を面としてとらえること

淡水と海水が混ざり合う「汽水域」が必要

トライ&エラーから何が生まれくるのか

制度の側が子どもの自立にデザインを合わせてください

制度ごとに色々な役者がいる

制度が重なり合う時にグラデーションを作る

属性とリスクの限界を突破したい

矢野さんと一緒に
考えよう！



大分・旭川

大分・旭川

大分・旭川

大分・旭川

大分・旭川

システムを機能させるのは人

属性とリスクによるパターンリズムが問題であり限界である

一つ大きなビジョンに向かって、それぞれの分野がどうやっていくのか

どうやって分野をこえてませこぜにしながらやっていくか

川の上流でどう受け止めるか

子ども／若者期のプラットフォームと青年／大人期のプラットフォームがどうつながるか

大分・旭川子ども若者支援交流会ふかぼり篇

～大分における実践から、「制度に分断されない子ども若者支援」を学ぶ～



日時・内容：時間はいつでも午後6時30分から8時30分まで

回	開催日	内容	コーディネーター
第1回	5月17日 (水)	おおいた子ども支援ネットの活動について講演、講演後のグループワーク	事務局
第2回	5月31日 (水)	テーマ①障がいのある子どもたちへの支援	殿村 みさきさん(どれみ相談室相談支援専門員、公認心理師、臨床発達心理士)
第3回	6月14日 (水)	テーマ②社会的養護により育った子どもたちへの支援	丸山 冬子さん(NPO法人ビ・リーヴ理事、弁護士)
第4回	6月28日 (水)	テーマ③触法行為をした子どもたちへの支援	佐藤 洋美さん(社会福祉士)
第5回	7月12日 (水)	テーマ④ひきこもった子どもたち、大人になった子どもたちへの支援	井上 眸美さん(NPO法人そーさぽ旭川代表理事、社会福祉士)
第6回	7月26日 (水)	大分からの学びをふまえてグループワーク、矢野さんとの意見交換	事務局

講師：NPO法人おおいた子ども支援ネット 理事長 矢野 茂生さん

大学卒業後、アルバイトを経て中学校教諭として9年勤務したのち、児童自立支援施設の専門員として13年勤務する。2014年11月、NPO法人おおいた子ども支援ネットを設立し、2015年4月から事業開始する。

同法人は大分県において、子どもの最善の利益、権利擁護を基盤にした包括的なこども支援事業を展開、「すべての子どもたちに明るい未来を！」を事業運営理念に掲げ、幼児期、学童・青年期、成人期までライフコースに寄り添った支援を実践している。「こどもセンター(児童発達支援センター)かおるおか」「相談支援事業所かおるみち」「放課後等デイサービスなないろ」「自立援助ホーム・子どもシェルターみらい」「おおいた青少年総合相談所(おおいた子ども・若者総合相談センター、おおいたひきこもり地域支援センター、児童アフターケアセンターおおいた)」を運営するほか、自治体や省庁と連携したモデル事業にも取り組んでいる。

対象：子ども・若者支援関係者 30名程度

※申込みが多い場合は、多く参加できる方を優先します。

会場：旭川市市民活動交流センターCoCoDe

会議・研修室1・2(宮前1条3丁目)

参加料：無料

申込み：2023(令和5)年5月12日までに、Googleフォームでお申込みください。

申込みフォームアドレス：<https://forms.gle/2WiSYnT4bp8hqytj7>

お問い合わせ先：NPO法人そーさぽ旭川 mail: ssn.asahikawa@gmail.com



[主催] NPO法人そーさぽ旭川

[共催] 旭川市市民活動交流センター、NPO法人ビ・リーヴ、永山こども発達支援センターぽの

[後援] 旭川市、旭川市教育委員会、社会福祉法人旭川市社会福祉協議会、公益社団法人北海道社会福祉士会道北地区支部、旭川地域児童デイサービス等連絡協議会